

いきがい・助け合いサミット in 大阪

共生社会をつくる地域包括ケア
～生活を支え合う仕組みと実践～

2019年

開催
日時

9月 9日 [月] 13:00～17:50 (18:30～大交流会)

9月 10日 [火] 9:00～15:50

会場

大阪府立国際会議場 (グランキューブ大阪)

大阪市北区中之島5丁目3-51

中之島公園

対象 生活支援コーディネーター及び協議体等地域活動関係者・組織、国、地方厚生局、地方自治体等及び民間団体の関係者をはじめ、助け合い、支え合う地域づくりに関係する幅広い分野の人々、その他関心を持つ一般住民など

参加申し込みは P10 をご確認ください

主催 / 公益財団法人さわやか福祉財団

いきがい・助け合いサミット in 大阪

共生社会をつくる地域包括ケア ～生活を支え合う仕組みと実践～

あなたに、来てほしい



あなたは、どんな生き方をしたいと望んでいますか。
誰もが最後までいきがいを持って幸せに暮らせるようにするために、私たちは何をすればいいのでしょうか。
誰もが年を取るのだから、いくつになっても自分らしく生きていける社会にしていくことは、若い人たちを含めて、みんなのためです。

その道は、誰も経験していない、未開拓な道です。
まずは、自分の人生を充実したものにしたいと頑張っているあなた。
そして、そういう思いをかなえたいと励んでいる生活支援コーディネーター、協議体のみなさん、行政、社協、包括の担当者、民生委員、自治会役員、NPO、そして志ある助け合いの仲間たち。
それぞれに抱える悩みを学び合い、語り合しましょう。全国には、同じ思いの素敵な人たちがいっぱいいます。

3ページ以下に出てくる54のパネルのテーマをご覧ください。あなたの悩みがいくつも書かれているでしょう。その悩みに、魅力的なメンバーが正面から取り組みます。

みんな同志です。心を開けば、一生の友だちができます。

そこに顔を出して、同志たちに話しかけましょう。

そして、新しいあなたの人生と、日本の新しいいきがい社会への道が、そこから開いていきます。

その場に、あなたにもいてほしいのです。道を開く主人公として。

主催者 公益財団法人さわやか福祉財団

全体のタイムテーブル

9日(月)		10日(火)	
13:00 ~ 13:10	開会挨拶	9:00 ~ 11:00	第2部パネル
13:10 ~ 15:00	全体シンポジウム	11:00 ~ 12:30	昼食・ポスターセッション
15:30 ~ 17:50	第1部パネル	12:30 ~ 14:30	第3部パネル
18:30 ~ 20:00	大交流会(兼ポスター展示)	14:50 ~ 15:50	全体発表

後援(予定)

厚生労働省 大阪府 大阪市 (社福)全国社会福祉協議会 日本生活協同組合連合会 全国農業協同組合中央会 (公財)全国老人クラブ連合会 (特非)高齢社会をよくする女性の会 (社福)大阪ボランティア協会 Jリーグ

(社福)大阪府社会福祉協議会 (社福)大阪市社会福祉協議会 (一社)医療介護福祉政策研究フォーラム (特非)地域ケア政策ネットワーク (特非)日本NPOセンター 高齢社会NGO連携協議会 (一社)長寿社会開発センター国際長寿センター (認定特非)サービスグラント (特非)全国移動サービスネットワーク (特非)ニッポン・アクティブライフ・クラブ にっぽん子育て応援団 (認定特非)日本ファンドレイジング協会 (特非)全国コミュニティライフサポートセンター (公財)公益法人協会 (公社)日本フィランソロピー協会 小規模多機能自治推進ネットワーク会議

(公社)日本医師会 (公社)日本看護協会 (公社)日本社会福祉士会 (公社)日本介護福祉士会 (一社)日本介護支援専門員協会 (公社)全国公民館連合会 全国自治会連合会 (公社)日本理学療法士協会 (一社)日本作業療法士協会 (一社)認定介護福祉士認証・認定機構

(順不同)

いずれも4月1日時点のものです。但し、最新の内容が確認できている場合は、その肩書を掲載しています。なお、内容は追加及び変更する可能性があります。

以下、敬称略、生活支援コーディネーターはSCと略しています。

全体シンポジウム 9日(月) 13:10~15:00

「共生社会をつくる地域包括ケア～生活を支え合う仕組みと実践～」

登壇者



原 勝則
元厚生労働審議官・
老健局長



宮本 太郎
中央大学法学部教授



袖井 孝子
お茶の水女子大学
名誉教授



蒲原 基道
前厚生労働事務次官

進行役



堀田 力
(公財) さわやか福祉財団
会長

第1部パネル 9日(月) 15:30~17:50

分科会 1

生活支援を助け合い活動で行うには、具体的にどうすればよいか



進行役
堀田 聡子
慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授

登壇者

- 大島 一博 厚生労働省老健局長
- 渋谷 篤男 (社福) 中央共同募金会常務理事
- 山際 淳 日本生活協同組合連合会福祉事業推進部長
- 澤出 桃姫子 日常生活支援あつべつ・たすけ愛ふくろう代表
- 堀田 力 (公財) さわやか福祉財団会長

分科会 2

市区町村における庁内体制はどうあるべきか



進行役
村田 幸子
福祉ジャーナリスト



アドバイザー
大森 彌
東京大学名誉教授

登壇者

- 吉田 一平 長久手市長
- 秋山 由美子 元世田谷区副区長
- 望月 迪洋 新潟市政策調整監
- 小玉 昭子 越前市社会福祉課相談支援包括化推進員
- 菅原 弥生 大館市長寿課長

分科会 3

住民から信頼される体制をどうつくるか
～SCと協議体構成員の人选、2層圏域の設定・事務局体制など～

進行役

長瀬 純治
(公財) さわやか福祉財団

登壇者

- 松尾 好明 つくばみらい市第1層SC
- 小林 陽一 南アルプス市第2層SC
- 小山 貴行 志木市長寿応援課
- 大山 洋治 葛城市第1層SC
- 川嶋 祥子 志木市第1層SC
- 園田 香奈子 奄美市高齢者福祉課
- 渡邊 洋子 板橋区第1層SC
- 田丸 友三郎 奄美市第1層SC

分科会 4

SCと協議体はどう役割を果たすか
～SCと行政との連携、1層と2層の連携など～

進行役

土屋 幸己
元(公財) さわやか福祉財団



アドバイザー
原 勝則
元厚生労働審議官・
老健局長

登壇者

- 目崎 智恵子 高崎市第1層SC・(公財) さわやか福祉財団
- 渡邊 優子 村上市第2層SC
- 河村 政徳 犬山市第1層SC
- 貝長 誉之 太子町第1層SC

分科会 5

目指す地域像の意義と取り組み方



進行役
齋木 由利
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 経済政策部副主任研究員



アドバイザー
和田 敏明
ルーテル学院大学
名誉教授

登壇者

- 井上 秀子 阿賀野市第1層SC
- 斉藤 節子 南アルプス市第1層SC
- 坂上 尚大 阪南市第1層SC
- 清水 民樹 福津市第1層SC

分科会 6

助け合いのネットワークをつくるにあたり、既存の助け合い活動を生かすにはどうすればよいか



進行役
岩名 礼介
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
社会政策部長、上席主任研究員

登壇者

- 齊藤 秀樹 (公財) 全国老人クラブ連合会常務理事
- 河田 珪子 地域の茶の間創設者
- 石橋 正道 (社福) 綾瀬市社会福祉協議会
- 岡 保正 箱の浦自治会まちづくり協議会会長
- 佐藤 智彦 (社福) 池田町社会福祉協議会事務局長

分科会 7

地縁の助け合い活動を活性化するには？

進行役
岡野 貴代
(公財) さわやか福祉財団



登壇者
高橋 由和
(特非) きらりよしじま
ネットワーク事務局長

登壇者
細貝 光義 (特非) 鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会会長
小林 孝 コープ南砂助け合いの会事務局長
初田 隆史 若葉台自治会長・第1層協議体委員長
内鏡原 勇 鹿屋市保健福祉部高齢福祉課
穂園 裕治 鹿屋市第2層SC

分科会 9

有償(謝礼付き) ボランティア活動をどう広げるか



進行役
中村 順子
(認定特非) コミュニティ・
サポートセンター神戸
理事長



アドバイザー
袖井 孝子
お茶の水女子大学
名誉教授

登壇者
成瀬 和子 (社福) しみんふくし滋賀副理事長
加藤 由紀子 NPO法人ふれあい天童代表理事
杉山 久美子 生活協同組合コープにいがたの助け合いたんぼの会代表
牧 圭介 生活協同組合コープこうべ大阪北地区活動本部長

分科会 11

行政やSC、協議体などによる後方支援、特に補助をどのようにすればよいか



進行役
服部 真治
医療経済研究機構研究部主任研究員
兼 研究総務部次長

登壇者
辻野 文彦 八王子市高齢者福祉課
森 紫歩 豊明市第1層SC
山本 真琴 (社福) 萩市社会福祉協議会地域福祉課長
鈴木 聞 池田町保健福祉課

分科会 13

要介護者の生活支援を助け合いで行うことができるか



進行役
松岡 洋子
東京家政大学人文学部准教授

登壇者
平野 覚治 (一社) 全国食支援活動協会専務理事
渡邊 典子 (特非) ほっとあい副理事長
神谷 良子 (特非) 神戸ライフ・ケア協会理事長
熊谷 美和子 (特非) たすけあい平田理事長

分科会 8

共生型常設型居場所をどう広げるか

進行役
鶴山 芳子
(公財) さわやか福祉財団理事

登壇者
島村 孝一 (特非) きらりびとみやしろ理事長
塩澤 敏男 新潟市西蒲区第1層SC
砂塚 一美 柏崎市第1層SC
稲葉 ゆり子 (特非) たすけあい遠州代表理事
新川 好敏 (社福) 曾於市社会福祉協議会地域福祉課長

分科会 10

自動車による移動支援をどう広げるか

(企画・協力: (特非) 全国移動サービスネットワーク)



進行役
河崎 民子
(特非) 全国移動サービスネットワーク副理事長

登壇者
遠藤 準司 (特非) 全国移動サービスネットワーク理事
三星 昭宏 近畿大学名誉教授
梅田 寛章 不動産ヶ丘高齢者等生活支援プロジェクトほっとらいふ代表
窄口 真吾 (社福) 小野市社会福祉協議会地域福祉課
川部 勝一 厚生労働省老健局振興課課長補佐

分科会 12

人生100年時代、介護問題を女性の目で見ると



登壇者
樋口 恵子
(特非) 高齢社会をよく
する女性の会理事長



登壇者
猪熊 律子
読売新聞東京本社
編集委員

分科会 14

医療・介護サービスと生活支援の助け合い活動とのネットワークをどうつくるか



進行役
中村 秀一
(一社) 医療介護福祉政策研究フォーラム理事長

登壇者
小野 健悦 (医) 博仁会 志村大宮病院法人サポート部副部長
中島 由美子 (医) 恒貴会訪問看護ステーション愛美園所長
早川 仁 流山市健康福祉部長
佐藤 寿一 (社福) 宝塚市社会福祉協議会常務理事

分科会 15

ケアプランに生活支援の助け合い活動及び本人のいきがい活動をどう取り入れるか



進行役
江田 佳子
佐々町住民福祉課課長補佐

- 登壇者
- 岡持 利巨 (医) 真正会 霞ヶ関南病院地域リハ・ケアサポートセンター長
 - 唐木 美代子 居宅介護支援事業所「ケアステーション地球人」ケアマネージャー
 - 古海 りえ子 (特非) みんなの元気塾副理事長
 - 安本 勝博 津山市健康増進課・高齢介護課
 - 石川 裕子 地域密着多機能ホーム「菰の浦・さくらホーム」主任ケアマネージャー

分科会 16

いわゆる重度者に対する24時間在宅ケアサービスをどう組み立てるか



進行役
田中 滋
埼玉県立大学理事長、慶應義塾大学名誉教授

- 登壇者
- 秋山 正子 暮らしの保健室長、(認定特非) マギーズ東京センター長
 - 時田 純 (社福) 小田原福祉会会長
 - 時田 佳代子 (社福) 小田原福祉会理事長
 - 竹本 匡吾 (社福) 地域でくらす会副理事長

第2部パネル 10日(火) 9:00~11:00

分科会 17

助け合いによる生活支援活動に対する寄付・遺贈などの意義と仕組みは何か



進行役
早瀬 昇
(社福) 大阪ボランティア協会常務理事

- 登壇者
- 井手 達也 (社福) 合志市社会福祉協議会事務局次長・地域福祉課長
 - 鶴尾 雅隆 (認定特非) 日本ファンドレイジング協会代表理事
 - 高橋 陽子 (公社) 日本フィランソピー協会理事長
 - 山田 健一郎 (公財) 佐賀未来創造基金代表理事
 - 米田 佐知子 子どもの未来サポートオフィス代表

分科会 18

子どもと高齢者の交流や助け合いをどう広げるか

(企画・協力: にっぽん子育て応援団)



進行役
奥山 千鶴子
(特非) 子育てひろば全国連絡協議会理事長

- 登壇者
- 石蔵 文信 大阪大学大学院人間科学研究科未来共創センター招へい教授
 - 岡村 紀男 ほっとスペース じいちゃんち代表
 - 松本 茂子 ボランティアはなぞの代表
 - 宮内 敏雄 (特非) あいぼーとステーション 子育て・まちづくり支援プロデューサー
 - 梅澤 隆 (特非) あいぼーとステーション 子育て・まちづくり支援プロデューサー

分科会 19

小・中学校における共生教育、特に助け合いによる生活支援の理解をうながす人間教育をどう行うのが望まれるか

進行役
中村 豊
(公財) さわか福社財団



アドバイザー
嶋野 道弘
元文教大学教育学部教授

- 登壇者
- 大河原 敦 前 川西町立吉島小学校校長
 - 齋藤 舞 (社福) 埼玉県社会福祉協議会地域活動支援課
 - 武智 理恵 (特非) まちと学校のみらい理事
 - 田中 克博 精華町キャラバン・メイト連絡会代表

分科会 20

障がい者が地域の人々とともに生きる地域をどうつくるか

進行役
土屋 幸己
元(公財) さわか福社財団



アドバイザー
蒲原 基道
前厚生労働事務次官

- 登壇者
- 飯田 大輔 (社福) 福祉楽団理事長
 - 内布 智之 (一社) 日本メンタルヘルスピアサポート専門員研修機構代表理事
 - 大原 裕介 (社福) ゆうゆう理事長
 - 杉田 健一 (特非) 縁活代表

分科会 21

認知症の人が地域の人々とともに生きる地域をどうつくるか



進行役
新田 國夫
(医) つくし会理事長

- 登壇者
- 大島 一博 厚生労働省老健局長
 - 原 勝則 元厚生労働審議官・老健局長
 - 服部 安子 (社福) 浴風会ケアスクール校長

分科会 22

生活困窮の人が地域の人々とともに生きる地域をどうつくるか



進行役
勝部 麗子
(社福) 豊中市社会福祉協議会福祉推進室長

- 登壇者
- 中村 龍男 中村新聞舗代表
 - 豊中市庄内南校区社会福祉協議会会長
 - 豊中市小売商業団体連合会
 - 豊中市原田校区福祉委員会の皆さん

分科会 23

刑罰者などの人が地域の人々とともに生きる地域をどうつくるか

進行役
堀田 力
(公財) さわやか福祉財団会長



登壇者
村木 厚子
津田塾大学客員教授

登壇者
玄 秀盛 (公社) 日本駆け込み寺代表
中本 忠子 (特非) 食べて語ろう会理事長
西村 穰 (認定特非) 全国就労支援事業者機構事務局長
山本 讓司 作家、福祉活動家

分科会 25

企業OBに助け合いによる生活支援活動への参加をうながすにはどうすればよいか



進行役
神野 毅
(特非) ニッポン・アクティブライフ・クラブ会長

登壇者
奥山 俊一 (認定特非) プラチナ・ギルドの会理事長
齊藤 秀樹 (公財) 全国老人クラブ連合会常務理事
中村 順子 (認定特非) コミュニティ・サポートセンター神戸理事長
和多 幸司朗 (公社) 門真市シルバー人材センター常務理事・事務局長

分科会 27

我が事・丸ごとや小規模多機能自治などの地域づくり活動と生活支援活動をどう結び付けるか



進行役
堀田 聡子
慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授

登壇者
板持 周治 雲南市地域振興課長
高橋 由和 (特非) きらりよしじまネットワーク事務局長
森脇 俊二 (社福) 氷見市社会福祉協議会事務局次長
野崎 伸一 厚生労働省社会・援護局生活困窮者自立支援室長

分科会 29

認定介護福祉士が地域の連携強化に果たす役割



進行役
諏訪 徹
日本大学文理学部社会福祉学科教授

登壇者
平川 博之 (一社) 認定介護福祉士認証・認定機構理事
山田 尋志 地域密着型総合ケアセンターきたおおじ代表
家崎 かおり 認定介護福祉士 / (社福) 坂城町社会福祉協議会
北山 加代子 認定介護福祉士 / (特非) ほのほのセンターひなたぼっこ代表
遠藤 洋一 京都市介護ケア推進課資格・認定給付担当課長

分科会 24

市民後見人による後見活動と生活支援活動はどう連携するのが望ましいか



進行役
大森 彌
東京大学名誉教授

登壇者
赤沼 康弘 赤沼法律事務所 弁護士
東 啓二 東京大学大学院教育学研究科特任専門職員
小池 信行 山田二郎法律事務所 弁護士
羽田 富美江 地域密着多機能ホーム「鞆の浦・さくらホーム」施設長
村井 智子 大阪市成年後見支援センター所長

分科会 26

助け合い活動にプロボノとしてどう参加するか

(企画・協力: (認定特非) サービスグラント)



進行役
嵯峨 生馬
(認定特非) サービスグラント代表理事

登壇者
猪俣 健一 (社福) 阪南市社会福祉協議会事務局次長
金山 佳子 生前整理診断士・整理収納アドバイザー / (特非) ここから100代表
森本 健司 医療関連企業
吉田 夏子 大阪府介護支援課
吉村 悦子 (特非) 住まいみまもりたい理事長

分科会 28

介護におけるエンパワメントと自立支援のあり方は何か



進行役
中村 秀一
(一社) 医療介護福祉政策研究フォーラム理事長

登壇者
石山 麗子 国際医療福祉大学大学院教授
河田 瑠子 地域の茶の間創設者
熊谷 美和子 (特非) たすけあい平田理事長
近藤 克則 千葉大学予防医学センター 社会予防医学研究部門教授
松井 一人 (公社) 日本理学療法士協会常務理事

分科会 30

「民間の公益」(助け合い活動) と「行政の公益」(生活支援サービス) の関係を考える



進行役
雨宮 孝子
(公財) 公益法人協会理事長

登壇者
上野谷 加代子 同志社大学社会学部社会福祉学科教授
岡本 仁宏 関西学院大学法学部教授
出口 正之 国立民族学博物館教授
山岡 義典 (公財) 助成財団センター理事長

分科会 31

都道府県は助け合いによる生活支援活動を広めるために何をすべきか

進行役

清水 肇子
(公財) さわか福祉財団理事長

登壇者

石山 裕子 厚生労働省老健局振興課
今井 隆元 埼玉県地域包括ケア課
小林 亮太 新潟県高齢福祉保健課
舟澤 輝 静岡県長寿政策課
吉田 夏子 大阪府介護支援課

分科会 33

協議体は地域ケア会議その他の類似機関と兼ねることが出来るか

進行役

土屋 幸己
元(公財) さわか福祉財団

登壇者

齋藤 大輔 市原市第1層SC
瀬賀 秀雄 村上市第2層かみはやし協議体
河上 誠 泉南市第2層SC
石井 義恭 厚生労働省社会・援護局地域福祉課/老健局総務課課長補佐

分科会 35

地域包括支援センターは総合事業・体制整備事業にどこまで関わるのが望ましいか



進行役
高良 麻子
東京学芸大学教育学部教授

登壇者

岡村 美花 武蔵村山市南部地域包括支援センター・第1層SC
平井 栄理子 松前町健康課地域包括支援センター係
大浦 むつみ 佐々町地域包括支援センター・第1層SC
櫻井 宏充 厚生労働省老健局振興課課長補佐

分科会 37

工程表のつくり方 ~目指す地域像を実現するためのステップはどのように考えたらよいか~

進行役

岡野 貴代
(公財) さわか福祉財団

登壇者

野中 久美子 (地独) 東京都健康長寿医療センター研究所
社会参加と地域保健研究チーム研究員
立花 幹 埼玉県地域包括ケア課
佐藤 正和 新潟市地域包括ケア推進課副参事
常盤 かね美 長野市第2層SC
佐藤 千佳 (社福) 豊中市社会福祉協議会地域福祉課長
三角 奈都美 川島町健康福祉課
小林 節子 川島町第1層SC
東條 信也 太子町高齢介護課長

分科会 32

人口が少ない自治体における助け合いによる生活支援に関する課題と対応策は何か



進行役
三政 貴秀
小坂町福祉課

登壇者

津澤 安彦 浦河町第1層SC
高津佐 智香子 神河町健康福祉課
相馬 まち子 新富町第1層SC
岡本 貢 三原村第1層SC

分科会 34

社会福祉協議会の総合事業・体制整備事業における役割は何か



進行役
高橋 良太
(社福) 全国社会福祉協議会地域福祉部長

登壇者

太田 美津子 板橋区第1層SC
佐藤 小百合 村上市第2層SC
龍井 久美 (社福) 対馬市社会福祉協議会事務局長
関口 和宏 三芳町第1層SC

分科会 36

SCやその関係者の人事はどうあるのが望ましいか



進行役
丸藤 競
函館市地域交流まちづくりセンター長/函館市第1層SC



アドバイザー
岩名 礼介
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 社会政策部長、上席主任研究員

登壇者

砂塚 一美 柏崎市第1層SC
河村 政徳 犬山市第1層SC
永田 孝一 奄美市高齢者福祉課長

分科会 38

町内会レベルのワークショップの手法は何か

進行役

高橋 望
(公財) さわか福祉財団

登壇者

高橋 誠 柏崎市第1層SC
平野 歌織 長野市第2層SC
久本 一富 人吉市第1層SC
対馬 ひろみ 小坂町第1層SC

分科会 39

アンケートと訪問調査を有効に行い、活用する方法は何か



進行役
相山 馨
富山国際大学
子ども育成学部准教授



アドバイザー
袖井 孝子
お茶の水女子大学
名誉教授

登壇者

坂上 尚大 阪南市第1層SC
高木 佳奈枝 竹田市第1層SC
斉藤 貴紀 対馬市第1層SC

分科会 40

担い手養成講座の成果を生かす方法は何か



進行役
中村 順子
(認定特非) コミュニティ・サポートセンター神戸理事長

登壇者

中村 仁 (特非) ニッポン・アクティブライフ・クラブ函館はまなす副代表・事務局長
目崎 智恵子 高崎市第1層SC
渡邊 隆幸 新潟市中央区第1層SC
大錦 清文 出雲市第1層SC

分科会 41

地域で行われている助け合い活動をどう再発見するか

(企画・協力: (特非) 全国コミュニティライフサポートセンター)



進行役
池田 昌弘
(特非) 全国コミュニティライフサポートセンター理事長

登壇者

高橋 由和 (特非) きらりよじまネットワーク事務局長
酒井 保 ご近所福祉クリエイション主宰 近所福祉クリエーター

分科会 42

防災活動をどう助け合い活動に結び付けるか
～助け合いマップの活用など～



進行役
菱沼 幹男
日本社会事業大学社会福祉学部准教授

登壇者

野村 恭代 大阪市立大学大学院生活科学研究科准教授
水鳥 順二 京都市春日学区自主防災会会長
仲 峰子 豊中市刀根山校区福祉委員会
浜 尚美 神戸市西区「竹の台地区防災・防犯福祉コミュニティ」代表

分科会 43

特に大都市部において地域により助け合い活動創出の可能性や手法に大きな差異がある場合に、助け合い創出の戦略をどう立てるか

進行役
長瀬 純治
(公財) さわやか福祉財団



アドバイザー
和田 敏明
ルーテル学院大学名誉教授

登壇者

徳江 俊一 高崎市長寿社会課
金子 和雄 新潟市地域包括ケア推進課
内田 岳史 板橋区おとしより保健福祉センター

分科会 44

地域の中高年男性をどう助け合い活動に引き込むか



進行役
勝部 麗子
(社福) 豊中市社会福祉協議会福祉推進室長

登壇者

大下 勝巳 おやじの会「いたか」世話人
加藤 由紀子 (特非) ふれあい天童理事長
戸谷 友隆 「豊中めぐり」メンバー
初鹿野 聡 (特非) みんなのくらしターミナル理事長
原藤 光 「おんどりクラブ」会長

分科会 45

住民のやらされ感を払しょくするコツと手法は何か



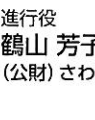
進行役
齋木 由利
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
経済政策部副主任研究員

登壇者

古屋 皓司 甲斐市福祉部長寿推進課/甲斐市地域包括支援センター
斉藤 節子 南アルプス市第1層SC
福沢 千恵子 高森支え合いネットワーク
今西 綾 広陵町介護福祉課
中家 裕美 岬町第1層SC
竹本 靖典 岬町第1層協議体副委員長

分科会 46

居場所にはどんな形があり得るか



進行役
鶴山 芳子
(公財) さわやか福祉財団理事



アドバイザー
藤原 佳典
(地独) 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム研究部長

登壇者

河田 瑠子 地域の茶の間創設者
米田 佐知子 子どもの未来サポートオフィス代表
大坪 直子 ふらっとカフェ鎌倉理事
國生 美南子 (認定特非) たすけあいの会ふきのとう副代表
土屋 龍太郎 土屋建設(株) 代表取締役社長
佐藤 昭男 (特非) ぽっかぽかすずかけ代表

分科会 47

現場視察を有効に行うには、どんな工夫をすればよいか



進行役
山本 純子
(特非) 福祉NPO支援ネット北海道
代表理事

登壇者

- 西村 有里 北海道芽室町第1層SC
- 佐藤 潤一 (社福) 埼玉県社会福祉協議会地域連携課
- 宮城 智広 鶴ヶ島市第1層SC
- 稲葉 ゆり子 (特非) たすけあい遠州代表理事
- 松井 杏奈 御前崎市第1層SC
- 寺井 正治 (特非) ニッポン・アクティブライフ・クラブ副会長
- 羽根 武志 藤井寺市第1層SC
- 岡山 隆二 もちつ・もたれつ・まくネット代表
- 大竹野 佑介 南大隅町第1層SC

分科会 49

時間預託をどう広めるか ~NALCの実践から~

(企画・協力: (特非) ニッポン・アクティブライフ・クラブ)



進行役
西村 順子
(特非) ニッポン・アクティブライフ・クラブ事務局長

登壇者

- 和田 修身 (特非) ニッポン・アクティブライフ・クラブ水戸拠点代表
- 近藤 秀子 (特非) ニッポン・アクティブライフ・クラブ枚方拠点副代表
- 浅野 公博 (特非) ニッポン・アクティブライフ・クラブ徳島拠点代表

分科会 51

海外では地域の助け合い活動でどれだけ高齢者の生活を支えているか

(企画・協力: (一財) 長寿社会開発センター 国際長寿センター)



進行役
大上 真一
(一財) 長寿社会開発センター 国際長寿センター室長

登壇者

- 馬 利中 上海大学教授・東アジア研究センター所長
- 李 誠國 慶北大学校医科大学名誉教授
- 松岡 洋子 東京家政大学人文学部准教授
- 鎌田 大啓 (株) TRAPE代表取締役

分科会 53

医師・看護師などの専門家にいきがいや助け合いの重要性をどう理解してもらうか



進行役
村田 幸子
福祉ジャーナリスト

登壇者

- 川口 篤也 (医) 道南勤労者医療協会函館稜北病院副院長
- 新田 國夫 (医) つくし会理事長
- 沖田 光昭 公立みつぎ総合病院院長
- 麻野 信子 (特非) さわか徳島 幸せの家・ありがとう会長

分科会 48

社会福祉法人はどのように社会貢献を行うか



進行役
諏訪 徹
日本大学文理学部社会福祉学科教授

登壇者

- 川邊 弘美 (社福) 芦別慈恵園施設長
- 宮田 裕司 (社福) 全国社会福祉法人経営者協議会
地域共生社会推進委員会副委員長
- 杉 啓以子 (社福) 江東園経営企画管理室本部長
- 高杉 威一郎 (社福) 峰栄会特別養護老人ホームさぎの宮寮施設長
- 中島 浩 (社福) 福津市社会福祉協議会
- 川内 みより (社福) 恵仁会・鹿屋市第2層SC

分科会 50

助け合い活動でどこまで家事支援や身体介助ができるか

進行役

堀田 力
(公財) さわか福祉財団会長

登壇者

- 田中 雅子 (一社) 富山県介護福祉士会会長
- 秋山 正子 暮らしの保健室長、(認定特非) マギーズ東京センター長
- 谷 仙一郎 (特非) 元気な仲間代表理事
- 阿部 かおり (特非) たすけ愛京築統括理事

分科会 52

在宅における介護人材の確保をどうするか ~本人の尊厳・いきがいを含めて生活を支える人材の確保~



進行役
服部 真治
医療経済研究機構研究部主任研究員
兼 研究総務部次長

登壇者

- 朝川 知昭 厚生労働省社会・援護局総務課長
- 斉藤 正身 (医) 真正会・(社福) 真寿会理事長
- 山田 尋志 地域密着型総合ケアセンターきたおおじ代表
- 中村 一郎 防府市高齢福祉課

分科会 54

在宅での人生の最終章の過ごし方及び看取りのあり方 ~医療関係者の関わり方、親族のあるべき態度、助け合い活動者の関わり方など~



進行役
花戸 貴司
東近江市永源寺診療所所長

登壇者

- 村松 静子 在宅看護研究センターLLP代表
- 永井 康徳 (医) ゆうの森理事長
- 熊谷 美和子 (特非) たすけあい平田理事長

ポスターセッションのご案内

全国各地から、助け合い、支え合う共生の地域づくりに関わる各地の取り組みや活動を紹介するポスターを募りポスターセッションを催します。

テーマは、

- (1) 生活支援コーディネーター、協議体構成員選出といった体制整備に関する事例
- (2) 住民のニーズ把握及び担い手の掘り起こしに関する事例
- (3) 助け合い活動の創出の実践事例

などの他、広く助け合いに関わるテーマとなります。

展示されたポスターの関係者から、内容についてご説明いただく予定ですので、多くの皆さんが学び合い、つながり合える絶好の機会です。取り組みの課題や工夫、ヒントなど、全国の情報を是非共有してください。

また、「これは！」と思った活動や感心した活動などのポスターに参加者みなさんからシールを貼ってご投票いただき、人気の高いポスターを発表いたしますので、こちらも楽しみにしてください。

お申し込みのご案内

対象：どなたでもご参加できます(事前申し込みをお願いいたします)

費用：資料代として2,000円(10日の昼食をお申し込みの場合、別途1,000円)

大交流会は、別途参加費として3,000円

※昼食をご希望される方は、お申し込みの際にAセット(お弁当・パック茶)、もしくはBセット(サンドイッチ・ドリンク)のいずれかをご選択ください。料金はどちらも1,000円(税込)です。

参加申込：Web 右ページに記載のURLからお申し込みください。

FAXまたは郵送

①お申し込み用紙に必要事項をご記入の上、参加受付事務局宛にお送りください。

②合計金額ならびに振込み先を記載した受付確認書をお送りいたします。到着次第最寄りの金融機関よりお振込み願います。

分科会のお申し込みについて

①分科会は基本的に出入り自由ですが、ご希望いただいた方は優先してご入場いただけます。

②ご参加いただく分科会については、8月20日頃にネームカードに記載のうえ、事前配布資料等とともに郵送させていただきます。

※テーマ分科会の希望は会場の状況等によりご希望に添えない場合もございます。

申込締切：2019年7月31日

※無料託児室を設けますのでご利用を希望される方は主催者迄お問い合わせください。

メールアドレス summit@sawayakazaidan.or.jp

取り消しについて

参加申込：お申し込み後の取り消しに伴う資料代の返却はいたしかねますのでご了承ください。その場合は、資料の送付で対応させていただきます。

大交流会・昼食：8月14日まで取り消しが可能です(取消料なし)。

右ページの参加受付事務局までご連絡ください。

8月15日以降の取り消しについては取消料が発生し返金できませんのでご容赦ください。

宿泊：20日前以降の取り消しにつきましては下記の取消料が発生いたします。

※取り消しについてはWebでお申し込みの方はWebにて取り消しの手続きを行なってください。

FAXまたは郵送でお申し込みの方は参加受付事務局宛ご連絡ください。

宿泊日の前日から 起算して	21日前まで	20日前～8日前 まで	7日前～2日前 まで	前日	当日 (15:00まで)	宿泊開始後および 無連絡不参加
取り消し料	無料	20%	30%	40%	50%	100%

※お客様が当社の営業日・営業時間内にご連絡いただいた日とします。

※ご宿泊日当日15:00までに、参加受付事務局または宿泊施設に取り消しの連絡が無い場合は、無連絡不参加として取り扱い100%の取消料を申し受けます。

注意事項

- ※サミット当日は館内のレストランが営業しておりませんので、ご注意ください。
- ※ご宿泊をされるお部屋につきましては禁煙・喫煙のご希望に添えない場合がございます。
- ※お申しいただくホテルの場所につきましては、下記の宿泊マップをご確認ください。

お問い合わせ先

主催

公益財団法人さわやか福祉財団

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 7階

TEL: 03-5470-7751 FAX: 03-5470-7755

参加受付事務局

東武トップツアーズ株式会社 東京法人西事業部

〒102-0075

東京都千代田区三番町5-7 精糖会館4階

TEL: 03-5212-7102 FAX: 03-5212-7095

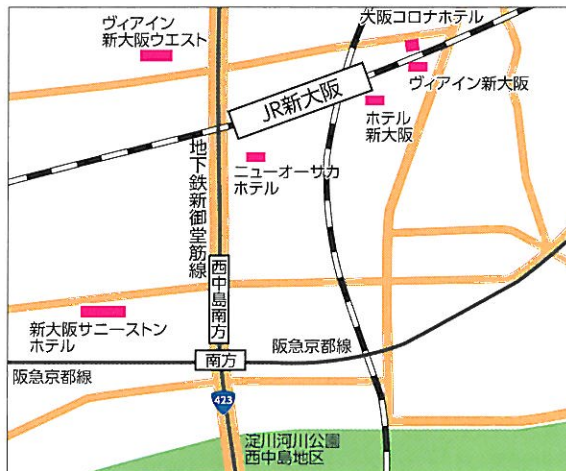
E-Mail: ikigaitasukeaiosaka@tobutoptours.co.jp

宿泊マップ

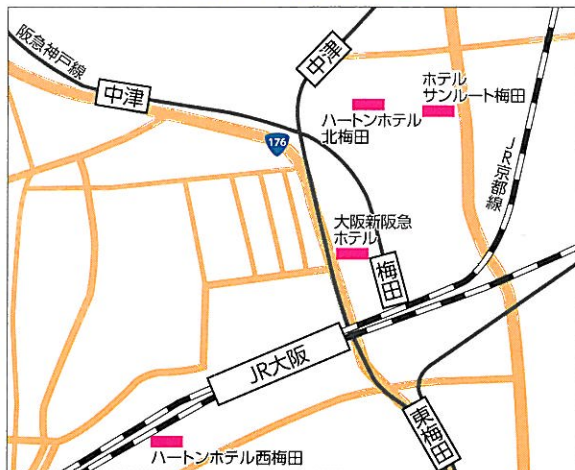
会場周辺



新大阪駅周辺



大阪・梅田駅周辺



会場案内

周辺アクセス

- 京阪電車中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口)すぐ
- JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約15分
- JR東西線「新福島駅」(3番出口)から徒歩約10分
- 阪神本線「福島駅」(3番出口)から徒歩約10分
- 大阪メトロ「阿波座駅」(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩約15分

関西国際空港から

- JR「大阪駅」まで約55分
- 空港リムジンバスで「大阪駅」まで約60分

大阪国際空港(伊丹)から

- 空港リムジンバスで「大阪駅」まで約30分

JR大阪駅と新大阪駅から会場(大阪府立国際会議場)までシャトルバスを運行する予定です。乗車場所、時刻表等詳細につきましては、ネームカードとともにお送りする事前配布資料にてお知らせいたします。



インターネットでお申し込みの方はこちらから。

<https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/ikigaitasukeaiosaka/>

財団HPからもお申し込み可能です。

<https://www.sawayakazaidan.or.jp/>



FAX送付先

03-5212-7095

郵送宛先

〒102-0075
東京都千代田区三番町5-7 精糖会館4階
東武トップツアーズ株式会社 東京法人西事業部
いきがい・助け合いサミット in 大阪 参加受付事務局

FAXまたは郵送でお申し込み希望の方は必要事項をご記入の上、参加受付事務局宛に送信(送付)してください。FAXまたは郵送でお申し込みいただく場合、お支払いは銀行振り込みとなります。お申込みに合わせた合計金額とお振り込み先などは、別途ご案内を郵送いたします。



インターネットでお申し込みの方はこちらから。

<https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/ikigaitasukeaiosaka/>

財団HPでもサミットのご紹介をしています。

<https://www.sawayakazaidan.or.jp/>

いきがい・助け合いサミットin大阪

参加申込書 (FAX・郵送用) / 申込締切7月31日

よみがな		役職名	
お名前			
所属・法人 団体名等			
資料送付先 住所	(〒 -)		(勤務先・自宅)
電話番号		FAX番号	

個人の方は団体名等の記入は不要です。

資料代	2,000円
-----	--------

■9月9日に参加される方は、以下にご記入ください。

大交流会	<input type="checkbox"/> 参加する (3,000円)	<input type="checkbox"/> 参加しない
------	--	--------------------------------

■9月10日に参加される方は、以下にご記入ください。

昼食・飲み物付き (1,000円)	<input type="checkbox"/> Aセット (和食)	<input type="checkbox"/> Bセット (サンドイッチ)	<input type="checkbox"/> 申し込まない
	※当日は館内のレストランが営業しておりませんのでご注意ください。		

テーマ分科会 (参加希望のパネル番号でご記入ください。第2希望まで)

第1部 (1~16) 9日 (月) 15:30~17:50	第1希望:	第2部 (17~30) 10日 (火) 9:00~11:00	第1希望:	第3部 (31~54) 10日 (火) 12:30~14:30	第1希望:
	第2希望:		第2希望:		第2希望:

※会場の状況等によりご希望に添えない場合がございます。ご参加いただく分科会は後日お送りするネームカードでご案内いたします。分科会は基本的に出入り自由ですが、事前にご希望をいただいた方には開始時のお席をご用意いたします。

第1希望	第2希望	宿泊申し込み (9月9日 1泊朝食付き、シングル、税金・サービス料込) ご希望の施設にチェックしてください。			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ホテルルートイン大阪本町	¥9,000	禁煙 ・ 喫煙	阿波座駅 徒歩5分
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	シティルートホテル	¥8,100	禁煙 ・ 喫煙	阿波座駅 徒歩9分
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ファミリーイン・フィフティーズ大阪	¥6,150	禁煙 ・ 喫煙	中之島駅 徒歩10分
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	大阪コロナホテル	¥7,000	禁煙 ・ 喫煙	新大阪駅 徒歩4分
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ホテル新大阪	¥9,340	禁煙 ・ 喫煙	新大阪駅 徒歩2分
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ヴィアイン新大阪	¥8,640	禁煙 ・ 喫煙	新大阪駅 徒歩3分
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ニューオーサカホテル	¥8,500	禁煙 ・ 喫煙	新大阪駅 徒歩2分
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	新大阪サニーストンホテル	¥8,856	禁煙 ・ 喫煙	西中島南方駅 徒歩4分
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ヴィアイン新大阪ウエスト	¥9,880	禁煙 ・ 喫煙	新大阪駅 徒歩5分
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ホテルサンルート梅田	¥9,200	禁煙 ・ 喫煙	中津駅 徒歩8分
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ハートンホテル西梅田	¥10,900	禁煙 ・ 喫煙	大阪駅 徒歩3分
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	大阪新阪急ホテル	¥11,880	禁煙 ・ 喫煙	梅田駅 徒歩1分
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ハートンホテル北梅田	¥10,500	禁煙 ・ 喫煙	中津駅 徒歩4分

※禁煙・喫煙については予約状況によりご希望に添えない場合がございます。

(承認番号: 客国19-112)